



# 平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年5月11日

上場会社名 比較.com株式会社  
 コード番号 2477 URL <http://www.hikaku.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 哲男

問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー (氏名) 木内 健二

TEL 03-5447-6690

四半期報告書提出予定日 平成29年5月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年6月期第3四半期の業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	677	12.6	349	11.2	350	11.0	225	18.1
28年6月期第3四半期	601	22.0	313	78.6	315	78.0	190	60.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	34.80	
28年6月期第3四半期	29.46	

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
29年6月期第3四半期	2,455		2,354		95.9	363.56
28年6月期	2,366		2,151		90.9	332.26

(参考)自己資本 29年6月期第3四半期 2,354百万円 28年6月期 2,151百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		3.50	3.50
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)				3.50	3.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年6月期の業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	937	16.7	481	16.1	482	16.0	302	31.8	46.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期3Q	6,476,400 株	28年6月期	6,476,400 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

29年6月期3Q	116 株	28年6月期	116 株
----------	-------	--------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期3Q	6,476,284 株	28年6月期3Q	6,476,284 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費の低迷と慢性的な人手不足が続き、経済成長が減速傾向にありましたが、都心部での再開発、また円安に転じたことが好材料と作用した大手企業をはじめとする企業収益の安定が見られました。一方、インバウンド業界では、LCCやクルーズ船の増便などで訪日客が引き続き増加していることから、緩やかな景気回復基調が続きました。

当社主力事業であるアプリケーションサービス事業と関連性が高い宿泊旅行業界は、日本政府観光局（JNTO）によると、当第3四半期会計期間に日本を訪れた外国人旅行者数は堅調に推移しており、前年同期比13.6%増の653万人となりました。このような好調な市場を背景に、宿泊業界は、積極的にIT関連投資、施設設備のリニューアルや新規開業を行う施設も増え、ホテル・旅館業界と民泊業界ともに、2020年に向けて増加する訪日客を十分に受け入れられる体制を整えています。

このような環境の中、アプリケーションサービス事業は『TEMAIRAZUシリーズ』の各商品の契約施設数を順調に増やしたことにより、当社全体の業績を牽引して、当第3四半期累計期間の売上高は677,351千円（前年同期比12.6%増）となりました。また、営業利益は349,048千円（前年同期比11.2%増）、経常利益は350,048千円（前年同期比11.0%増）、四半期純利益は225,389千円（前年同期比18.1%増）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりです。

#### 1) アプリケーションサービス事業

宿泊予約サイトコントローラ『TEMAIRAZUシリーズ』において、国内外の宿泊予約サイトとの連携による多様なチャネルからの集客機能の強化を行いました。サイト連携については、第1および第2四半期における3社に加え、1月には国内のサイトコントローラとして初の連携となった、Booking.com社の自社予約システムである『BookingSuite』、3月にはゲストとホストをつなぐ宿泊マッチングプラットフォームの『TATERU bnb』と連携し、また海外の自社予約システム2社との連携も続けて行いました。

これらのサイト連携の開発に加えて、宿泊施設のニーズに沿ったシンプルな操作性で効率化を実現し、大型施設に適した機能のユーザビリティ向上等を行いました。また昨今多くの施設は、客室稼働率や客室単価を高い水準に保つための施策を行うことが重要となっており、それに対応する形でイールドマネジメント機能の拡充のためのシステム開発を行いました。

営業面では、営業人員の拡充を行い、地域密着型のきめ細やかな営業活動の強化をし、毎年恒例となる2月の大規模イベントである国際ホテル・レストラン・ショーへ出展、加えて地方都市のカンファレンス等への積極的な参加も行いました。

前述のように市場環境が安定していることと、『TEMAIRAZUシリーズ』の新たなサイトや自社予約システムとの連携、各機能の改善やイールドマネジメント機能の拡充、また営業展開として、新規契約や既存製品からのバージョンアップの提案を積極的に行ったことで販売数が伸び、売上高が好調に推移しました。

この結果、アプリケーションサービス事業の売上高は624,399千円（前年同期比17.7%増）となり、セグメント利益は416,877千円（前年同期比16.5%増）に増加しました。

#### 2) インターネットメディア事業

比較サイト『比較.com』は、組織再編やサイトの再構築などの構造改革を継続して行っていますが、当第3四半期中においては、サイトのアクセス数が思うように伸びず、アフィリエイトの売上が減少しました。

この結果、インターネットメディア事業の売上高は52,951千円（前年同期比25.2%減）となり、セグメント利益は20,861千円（前年同期比24.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は2,455,319千円となり、前事業年度末に比べ89,215千円増加いたしました。主な要因は、現預金162,291千円の増加であります。

当第3四半期末の負債は100,773千円となり、前事業年度末に比べ113,506千円減少いたしました。主な要因は、未払法人税等101,912千円の減少であります。

当第3四半期末の純資産は2,354,545千円となり、前事業年度末に比べ202,722千円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益の発生によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の通期業績予想については、平成28年8月10日付の決算短信において発表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,140,768	2,303,059
売掛金	172,566	111,792
繰延税金資産	10,986	2,879
その他	10,259	6,878
貸倒引当金	△4,160	△2,676
流動資産合計	2,330,419	2,421,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,167	2,167
減価償却累計額	△2,167	△2,167
建物及び構築物(純額)	-	-
その他	22,468	22,468
減価償却累計額	△17,594	△19,104
その他(純額)	4,874	3,364
有形固定資産合計	4,874	3,364
無形固定資産		
ソフトウェア	1,030	872
無形固定資産合計	1,030	872
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,623	2,432
その他	32,087	35,506
貸倒引当金	△3,930	△8,789
投資その他の資産合計	29,779	29,149
固定資産合計	35,683	33,386
資産合計	2,366,103	2,455,319
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	151,096	49,183
その他	63,184	51,589
流動負債合計	214,280	100,773
負債合計	214,280	100,773
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	709,262	709,262
資本剰余金	1,000,262	1,000,262
利益剰余金	442,373	645,096
自己株式	△75	△75
株主資本合計	2,151,823	2,354,545
純資産合計	2,151,823	2,354,545
負債純資産合計	2,366,103	2,455,319

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	601,361	677,351
売上原価	49,673	59,350
売上総利益	551,688	618,000
販売費及び一般管理費	237,722	268,952
営業利益	313,966	349,048
営業外収益		
受取利息	882	106
その他	547	896
営業外収益合計	1,429	1,003
営業外費用		
その他	—	3
営業外費用合計	—	3
経常利益	315,396	350,048
税引前四半期純利益	315,396	350,048
法人税、住民税及び事業税	126,443	117,361
法人税等調整額	△1,826	7,297
法人税等合計	124,617	124,658
四半期純利益	190,779	225,389

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成27年7月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アプリケーション サービス事業	インターネット メディア事業	合計	調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	530,614	70,747	601,361	—	601,361
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	530,614	70,747	601,361	—	601,361
セグメント利益	357,751	27,663	385,414	△71,447	313,966

(注) 1. セグメント利益の調整額△71,447千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アプリケーション サービス事業	インターネット メディア事業	合計	調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	624,399	52,951	677,351	-	677,351
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	624,399	52,951	677,351	-	677,351
セグメント利益	416,877	20,861	437,738	△88,690	349,048

(注) 1. セグメント利益の調整額△88,690千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。